

総合病院
水島協同病院

倉敷市水島南春日町1-1
代表 086-444-3211
外来 086-444-1222



ISO9001 認証取得

水島協同病院 だより

No. 339

2022. 10月号



水協のホーム
ページもご覧
ください

http://www.mizukyo.jp

〔病院理念〕 いつでも、だれもが、安心してかけられる医療を追求します。

水島協同病院では無料・低額診療事業を行っています



世登看護師の事例報告をきく参加者



患者にとっての最良な選択をする上で医療者が
できること、心がけることを話す稲葉医師



院外から参加した方も一緒に、グループワーク
を行いました

昨年から主に外来診療と水島南診療所の訪問診療を担当しています。これまでには病院内での診療が主体で、何かあればすぐに相談したり、調べたりできる環境でしたが、在宅ではそれが限られ、不安もありました。しかし1年経過し、多くのことを学べました。

今後も入院、外来、在宅の橋渡しとしての役割を担っていただけるよう精進したいと思います。

7月20日、透析医療における倫理的問題を職員が学習しましたのでご紹介いたします。
人工透析とは、腎臓がうまく機能しない方の腎臓の働きを代行する治療の一つです。一般的には週3日、1回4時間程度人の生活や生き方に大きく関わります。そのため、開始にあたって、患者さんには大きな葛藤があります。
今回、倫理学習会では、透析療法を拒否される患者さんの事例を通して、透析医療における倫理的問題を学びました。
当院山本院長、人工透析室師長の世登看護師、南診療所の前医師と師長竹並看護師から事例報告があった後、透析担当医師の稲葉医師より、「透析医療における倫理的課題—透析開始と継続をめぐる問題—」として、とある医

療機関での事例をふまえ、日本透析医学会の提言などの解説がありました。
透析を中止することは患者さんの生死に関わる重大な意思決定であるため、医療者は十分な説明をし、患者さんの意思を聞き、本人が最良の選択を行えるように支援し、患者さん・ご家族等と話し合いを繰り返し、合意形成に努める必要があります。
今回の学習では、短時間のグループワークも行いました。倫理的課題を解決していくためには、話し合いの大切さや、患者さんの真意をくみ取る姿勢、関係機関との連携などが重要であるといった意見がだされ、理解や気づきに繋がる学習会でした。
(医療倫理委員会 森田千賀子)

全体学習 倫理事例学習会 繰り返し話し合うことの 重要性学ぶ

連載 みずきょうの診察室から

内科医師
おおはし ひでとも
大橋 英智



外来と在宅の比較から
見えてくること

診療スタイルをがらりと変えて、キャラクターも変えながら、いかに個別に適応しコミュニケーションをとっていくかが重要になります。また病気を治す役割の病院での医療とは異なり、在宅生活を希望する患者さんにとって支え維持していくかが中心となります。そのため、病院以上に患者さんや家族の希望や意見を尊重することが多く、病院では「ダメ」と思われることも在宅では許容し、生活の質を少しでも維持向上できるようにしていきます。